

住民参加型総合評価  
建設・開建小樽

# 住民評価で逆転落札

## 5号蘭越市街線形改良のスガワラ

### 沿道安全対策に高得点

【小樽】小樽開建は4日、国内で2例目となる住民参加型総合評価方式の住民プレゼンテーションを、蘭越町の町民センターらふちゃんホールで行った。2009年6月

民評価で1位に。住民評価を加えて再計算した結果、逆転で落札者に内定した。開建内部での承認を経て、10日にも落札決定する。

住民参加型入札は、一般市民に公共事業への理解を深めてもらうことや、入札制度の透明性を高めることを目的に試行している。試行対象は一般国道5号蘭越町蘭越市街線形改良工事。蘭越小学校周辺約200区間でカーブ緩和、右折レーン設置などを行って見通しを良くし、交通事故減少につなげる。4月5日に公告し、5月17日に開札した。

発注者評価2位のスガワラ(本社・黒松内)が住

冒頭、小樽開建の谷口秀之次長らが工事概要や評価方式について説明。プレゼンは「施工時における沿道の安全対策」をテーマとするのも報告した。

プレゼンに臨んだのは、瀬尾建設工業(本社・倶知安)、スガワラ、小田組(本社・小樽)の3社で、発表順番を公開で抽選し、瀬尾、小田、スガワラの順で実施した。各社は20分間の持ち時間で、パソコンのプレゼンテーションソフトを使って交通誘導員の配置計画や、通学時間帯には重機稼働を見合わせるなどの具体的な対策を紹介。説明後には持ち時間の範囲内で住民と質疑を交わした。3社が発表を終えた段階で住民による投票に移り、住民が施工を任せたい企業1社を選んだ。



企業の説明を真剣に聴き、1票を投じた

画や、通学時間帯には重機稼働を見合わせるなどの具体的な対策を紹介。説明後には持ち時間の範囲内で住民と質疑を交わした。3社が発表を終えた段階で住民による投票に移り、住民が施工を任せたい企業1社を選んだ。

住民評価を反映する前の評価値は、首位の瀬尾建設工業が200・14点(小数点第2位まで)、スガワラが196・71点、小田組が195・74点。評価した住民は20人で、投票結果はスガワラ12票、瀬尾建設工業8票、小田組0票。スガワラに18点、瀬尾建設工業に12点(18×12分の8)の住民評価点を上乗せした再計算で、スガワラの最終評価値が221・56点となり、瀬尾建設工業の216・88点を上回った。同工事の予定価格は7

2011年(平成23年)6月8日(水曜日)

## 生活への影響に関心

### 小樽開建 住民参加型総合評価

【小樽】小樽開建が4日に実施した住民参加型総合評価落札方式の住民プレゼンテーションで、評価に臨んだ住民側は、子どもたちの登下校時の安全確保対策や夜間の管理状況など、自分たちの生活に直結する問題に高い関心を示していた。参加した瀬尾建設工

業、小田組、スガワラの3社は、「施工時の沿道における安全対策」をテーマにそれぞれの方針を説明した。

住民側からの質問は「夜間や休校時ほどのように管理するのか」「誘導員はどこに何人配置するのか」など、事故防止に向けた各社の具体的な

考えを問う内容が大半を占めた。これらに対し各社は、「夜間は常駐はしないが定期的に巡回したい」「交通誘導員は施工箇所には必ず配置し、その他の必要な場所にも適宜配置する」などと応えた。評価に参加した住民の一人は「全社が町外業者のため、施工場所が抱える実情を十分に理解できていない部分もあったせいか、納得できない回答が一部にはあった」としながらも「施工に当たり地域のことを理解しようとする意欲は伝わってきた」と指摘。その上で「このような場は、身近で行われる工事をより良く知る貴重な機会であり、住民と建設業者間のコミュニケーションツールにもなり得る。各地でもぜひ展開してほしい」と期待を寄せた。